



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 浅田 茂

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	195,709	—	18,517	—	17,001	—	9,080	—
26年3月期第1四半期	143,761	19.7	17,652	14.6	19,047	59.0	10,949	36.3

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 3,315百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 23,617百万円 (134.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年12月期第1四半期	45.10	45.08
26年3月期第1四半期	56.51	55.70

当社は平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また3月決算の連結対象会社も12月決算に変更しております。これに伴い、当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、当第1四半期連結累計期間については、従来3月決算会社であった連結対象会社は3ヶ月(平成26年4月1日～平成26年6月30日)、12月決算会社である連結対象会社は6ヶ月(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	609,939	433,649	61.6
26年3月期	620,419	432,152	60.3

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 375,445百万円 26年3月期 374,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	19.00	—	6.40	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、平成26年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施する予定であるため、平成26年12月期(予想)の期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。これは前予想の期末配当金19円に換算しますと、20銭の増配となります。詳しくは、「(参考) 株式分割後の業績予想及び配当予想について」をご覧ください。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	540,000	—	56,600	—	55,000	—	31,700	—	52.49

注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成26年6月25日開催の第54回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成26年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、通期については、従来3月決算会社であった連結対象会社は9ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)、12月決算会社である連結対象会社は12ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年12月31日)を連結対象期間とした予想数値を記載しております。このため、通期の対前期増減率については記載していません。また、第2四半期につきましても、従来3月決算会社であった連結対象会社は6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、12月決算会社である連結対象会社は9ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)の連結対象期間となりますが、変則的な対応になりますことから社内の業績管理を通期で行っております関係上、連結業績予想は通期のみ開示しております。
3. 平成26年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。詳しくは、「(参考) 株式分割後の業績予想及び配当予想について」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	206,944,773 株	26年3月期	206,944,773 株
26年12月期1Q	5,591,277 株	26年3月期	5,623,977 株
26年12月期1Q	201,334,146 株	26年3月期1Q	193,756,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 株式分割後の業績予想及び配当予想について

当社は、平成26年8月8日開催の当社取締役会において、株式分割に関して決議し、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施することとしております。株式分割考慮前に換算した平成26年12月期の連結業績予想及び配当予想は以下のとおりです。

- 平成26年12月期の業績予想(1株当たり当期純利益)
 - 通期 157円46銭
- 平成26年12月期の配当予想(1株当たり配当金)
 - 第2四半期末 19円00銭(注1)
 - 期末 19円20銭(注2)

(注1) 第2四半期末の配当は、株式分割実施前の株式数に対して支払われます。
 (注2) 株式分割考慮前に換算した配当額であります。
 (注3) 平成26年12月期の年間配当金(株式分割考慮前)は38円20銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、従来3月決算会社であった連結対象会社は3ヶ月(平成26年4月1日～平成26年6月30日)、12月決算会社である連結対象会社は6ヶ月(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同期比増減については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、タイや一部の中東諸国において政情不安がみられましたが、当社商品は生活必需品であることや、新興国を中心としたパーソナルケア関連商品の普及の高まりで販売は堅調に推移いたしました。

一方、日本国内におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動は想定内に留まり、また、継続的な高付加価値提案等も奏功し市場は緩やかに拡大しております。

このような経営環境の中、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No. 1の商品とサービスを提供し続けます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、市場の活性化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高195,709百万円、営業利益18,517百万円、経常利益17,001百万円、四半期純利益9,080百万円となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

● ベビーケア関連商品

海外では、主要参入各国において地域の特性に合った機能を搭載した商品の販売促進に取り組み、シェアと売上の拡大に努めてまいりました。新興国市場の中でも普及率の低いインドにおきましては、低価格商品の販売活動を積極的に行い、シェアを拡大することができました。また、インドネシアをはじめとするアセアン各国におきましても、市場の成長とシェア拡大の相乗効果で販売は引き続き順調に推移いたしました。

国内では、独自の不織布加工・成形技術を活かした赤ちゃんの肌をしめつけずに、ふんわりびたりでモレ安心の『ムーニー』シリーズからSサイズのパンツタイプ紙オムツ『ムーニーマン エアフィット』を新発売。ディズニーキャラクターのかわいいデザインと、たっぷり吸収の『マミーポコ』シリーズからはムレ・肌トラブルが多くなる夏でも快適に過ごせるよう、通気性をアップしたシートに改良した商品を発売し、ラインアップの充実を図るとともに、おねしょパンツなどのサブカテゴリ商品とのリレーション強化を図ってまいりました。

● フェミニンケア関連商品

海外では、重要市場である中国の若年層から、デザインのかわいらしさと商品の品質の高さに対して高いご支持を頂いたほか、新興国でも販売が拡大し業績は安定的に推移いたしました。

国内では、生理中の夜でも安心して熟睡できるナプキンとして高いご支持を頂いている『ソフィ 超熟睡』シリーズから、梅雨や夏の時期でもムレずに快適に安心して熟睡していただけるよう、通気性をアップした商品『ソフィ 超熟睡 極上フィットスリム 涼肌』を新たに「涼肌シリーズ」に加えて限定発売し、市場が縮小傾向にある中、多様化する女性のライフスタイルに応じた新価値提案と市場の活性化に努めてまいりました。

● ヘルスケア関連商品

高齢化の進展で成長が続くヘルスケア国内市場におきましては、『ライフフリー』シリーズに男性用尿ケア専用用品『ライフフリー さわやかパッド 男性用』を新発売し、女性用尿ケア専用用品『チャームナップ』シリーズと、『ライフフリーさわやかパッド』シリーズとともに“軽い尿モレ”は誰にでもあることとして抵抗感を払拭する活動に継続して取り組み、軽失禁・尿ケア市場の成長をリードしてまいりました。また、介護用品『ライフフリー』シリーズを含め、テレビコマーシャル、WEBサイト、店頭でのカウンセリングや日常生活動作に合わせた売り場づくりを通じて積極的な販売促進に取り組み、ヘルスケア関連商品のシェア拡大を図ってまいりました。

● クリーン&フレッシュ関連商品

クリーン&フレッシュ国内市場におきましては、住環境やライフスタイルの変化に伴い、リビング周りをいつも清潔に、家中を限られた時間の中で簡単にお掃除したいというお客様が増えている中、「片手でポン!すぐキレイ」のボックス型ウェットティッシュ『シルコット ウェットティッシュ』シリーズと、「家中まるごとこれ一本」のお掃除用ハンディワイパー『ウェーブ ハンディワイパー』の販売促進に取り組み、市場の活性化を図ってまいりました。

この結果、パーソナルケアの売上高は174,881百万円、セグメント利益（営業利益）は17,512百万円となりました。

②ペットケア

人とペットの豊かな共生社会の実現に向けて、セグメンテーションの進化及びペットとオーナー様双方の健康寿命延伸という2大テーマのもと、消費者ニーズを捉えた商品の開発と市場創造に努め、市場の活性化と販売促進に取り組んでまいりました。

国内ペットフードでは、犬フード市場におきまして、食べ悩みの多い小型犬の増加を背景に、味・食感・素材にこだわったほか、成犬から高齢、低脂肪までとラインアップを充実した新ブランド『愛犬元気 グラン・デリ』を発売し、市場の活性化に取り組んでまいりました。また、猫フード市場におきましては、猫の嗜好性に応じた商品開発に積極的に取り組み、食べ易さとおいしさを実現した『銀のスプーン 三ツ星ポタージュ パウチ』シリーズと年齢別に適切な栄養にこだわった『ねこ元気 総合栄養食缶』を発売し、新市場の創造に努めてまいりました。

国内ペットトイレタリーでは、犬猫の排泄ケアを中核市場として設定し、ペットオーナー様のニーズに応えた既存品の安定的成長に努めてまいりました。また、拡大する「香り消臭ニーズ」に応じた犬の排泄ケアペットシート『デオシート 小型犬用 ふんわり香る消臭シート グリーンアロマの香り』と、猫の排泄ケアでは全ての猫砂とシステムトイレに使用可能な『猫トイレまくだけ 香り広がる消臭ビーズ』シリーズを新たに発売し、業績は安定的に推移いたしました。

北米市場におきましては、ノミダニ駆除剤に広告投資を行い、売上を拡大いたしました。また、当社独自の技術を使用した犬用シート・猫砂商品・猫用おやつも大手小売店での取り扱いが広がり、売上拡大に貢献しております。

この結果、ペットケアの売上高は19,496百万円、セグメント利益（営業利益）は941百万円となりました。

③その他

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野におきましては、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

この結果、その他の売上高は1,331百万円、セグメント利益（営業利益）は62百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産は前連結会計年度末に比べて10,480百万円減少し、609,939百万円となりました。主な増加は、投資有価証券3,817百万円であり、主な減少は、現金及び預金△9,674百万円、受取手形及び売掛金△4,134百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債は前連結会計年度末に比べて11,977百万円減少し、176,289百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金△5,430百万円、未払法人税等△2,309百万円、賞与引当金△1,799百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は前連結会計年度末に比べて1,497百万円増加し、433,649百万円となりました。主な増加は、当第1四半期純利益9,080百万円、その他有価証券評価差額金706百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定△7,446百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間における自己資本比率は61.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成26年4月30日発表と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が2,988百万円増加、退職給付に係る負債が1,194百万円減少し、利益剰余金が2,682百万円増加しております。また、これによる当四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,901	99,226
受取手形及び売掛金	67,687	63,552
有価証券	3,013	6,013
商品及び製品	27,700	27,865
原材料及び貯蔵品	23,007	22,826
仕掛品	920	1,043
その他	34,049	30,825
貸倒引当金	△90	△88
流動資産合計	265,191	251,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	59,503	60,122
機械装置及び運搬具(純額)	98,629	101,180
その他(純額)	46,284	45,541
有形固定資産合計	204,417	206,844
無形固定資産		
のれん	73,463	71,286
その他	22,021	21,364
無形固定資産合計	95,485	92,651
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	860	4,192
投資有価証券	22,105	25,922
繰延税金資産	27,776	24,651
その他	4,683	4,500
貸倒引当金	△99	△90
投資その他の資産合計	55,326	59,177
固定資産合計	355,228	358,673
資産合計	620,419	609,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,433	73,002
短期借入金	7,709	7,516
未払法人税等	5,739	3,430
賞与引当金	4,763	2,963
その他	52,257	59,207
流動負債合計	148,903	146,120
固定負債		
長期借入金	21,000	21,000
退職給付に係る負債	4,995	3,848
その他	13,368	5,320
固定負債合計	39,364	30,169
負債合計	188,267	176,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	46,385	46,387
利益剰余金	306,974	314,711
自己株式	△21,110	△20,987
株主資本合計	348,242	356,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,058	9,765
繰延ヘッジ損益	2	5
土地再評価差額金	△157	△157
為替換算調整勘定	21,118	13,672
退職給付に係る調整累計額	△4,128	△3,944
その他の包括利益累計額合計	25,893	19,341
新株予約権	295	279
少数株主持分	57,719	57,925
純資産合計	432,152	433,649
負債純資産合計	620,419	609,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	143,761	195,709
売上原価	78,440	110,729
売上総利益	65,320	84,979
販売費及び一般管理費	※1 47,667	※1 66,461
営業利益	17,652	18,517
営業外収益		
受取利息	346	558
受取配当金	138	151
為替差益	1,398	—
助成金収入	11	347
その他	401	480
営業外収益合計	2,297	1,537
営業外費用		
支払利息	87	120
売上割引	760	1,195
為替差損	—	1,550
その他	54	186
営業外費用合計	902	3,053
経常利益	19,047	17,001
特別利益		
固定資産売却益	3	4
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産処分損	169	116
その他	30	—
特別損失合計	199	116
税金等調整前四半期純利益	18,851	16,889
法人税、住民税及び事業税	4,136	3,943
法人税等調整額	1,742	1,018
法人税等合計	5,878	4,961
少数株主損益調整前四半期純利益	12,973	11,928
少数株主利益	2,024	2,847
四半期純利益	10,949	9,080

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,973	11,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,325	706
繰延ヘッジ損益	△12	△4
為替換算調整勘定	9,331	△9,510
退職給付に係る調整額	—	195
その他の包括利益合計	10,643	△8,613
四半期包括利益	23,617	3,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,680	2,528
少数株主に係る四半期包括利益	3,936	787

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	123,582	18,852	1,326	143,761	—	143,761
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	9	9	△9	—
計	123,582	18,852	1,336	143,771	△9	143,761
セグメント利益(営業利益)	17,312	217	115	17,646	6	17,652

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				セグメント間取引消去又は全社	四半期連結損益計算書計上額
	パーソナルケア	ペットケア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	174,881	19,496	1,331	195,709	—	195,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3	3	△3	—
計	174,881	19,496	1,335	195,713	△3	195,709
セグメント利益(営業利益)	17,512	941	62	18,517	0	18,517